



平成22年4月2日

## 香川大学と富士通との「特別な支援を必要とする子どもたちへの携帯電話活用」 に関する共同研究に係る記者会見

香川大学(学長:一井眞比古)と富士通株式会社(本社:東京都港区、執行役員社長:山本正己、以下、富士通)は、「特別な支援を必要とする子どもたちへの携帯電話活用」の共同研究を開始することに合意し、4月1日からプロジェクトを発足しました。

本件に関し、広く皆さまのご理解を賜りたく富士通との共同記者会見を開催いたします。

1. 日 時 平成22年4月7日(水) 10:30~

2. 場 所 香川大学 研究交流棟5階 研究者交流スペース (高松市幸町1番1号)  
[http://www.kagawa-u.ac.jp/info/map/campusmap/saiwai\\_campus.html](http://www.kagawa-u.ac.jp/info/map/campusmap/saiwai_campus.html)

3. 出席者 (香川大学)

副学長(国際・連携担当)

田港朝彦(たみなと ともひこ)

教育学部長

有馬道久(ありま みちひさ)

教育学部教授(共同研究の研究担当者)

宮崎英一(みやざき えいいち)

教育学部准教授(共同研究の研究担当者)

坂井 聡(さかい さとし)

(富士通)

富士通株式会社総合デザインセンター長

加藤公敬(かとう きみたか)

富士通デザイン株式会社(共同研究の研究担当者) 杉妻 謙(すぎのめ けん)

4. 内 容

香川大学教育学部では、附属特別支援学校や附属特別支援教室「すばる」において、特別な支援を必要とする子どもたちへの教育と支援を行っています。特に、知的障がいや発達障がいの子どもたちを対象にして、さらにICTを活用した教育と支援も実践しています。また、富士通は、誰もが参加できるICT社会を目指してユニバーサルデザインに取り組み、特定の色を判別することが困難な方向けに色の判別を支援するColorAttendant(カラーアテンダント)など、携帯電話上で動作する支援ソフトウェアを開発、提供しています。

このたび、特別な支援を必要とする子どもたち(知的障がい、学習障がい、自閉症など)、その指導者や保護者などを対象にして、身近なICT機器である携帯電話を活用した生活・学習支援の有効性について実証実験を行います。

実証実験で使用するのは、富士通が開発した携帯電話用ソフトウェアです。

・時間の理解を支援するソフトウェア

- ・コミュニケーションや見通しを支援するソフトウェア
- ・漢字の筆順の理解を支援するソフトウェア

実証実験終了後、調査結果は公開し、教育機関、支援センター、保護者などに対して、携帯電話の活用事例、支援の有効性などについて幅広く紹介します。さらに、これらのソフトウェアについては、実証実験結果を踏まえて機能、操作性の改善を図り、普及を目指します。

今後も、特別な支援を必要とする子どもたちに有効なICTの活用について、研究を継続していきます。

## 【プロジェクトの概要】

### ①目的

身近なICT機器である携帯電話を活用して、特別な支援を必要とする子どもたちの生活の質(QOL: Quality of Life)を高めることを目指します。

### ②対象

- ・小学校、中学校、特別支援学校に通う知的障がい、学習障がいや自閉症のある子どもたち
- ・対象となる子どもたちを指導、支援している教師、支援員
- ・対象となる子どもたちの保護者

### ③調査方法

3つの支援ソフトウェアをインストールした携帯電話を教師、支援員、保護者に数ヶ月間貸与し、使用場面の観察、アンケート、ヒアリングなどを通して有効性を調査、分析します。

### ④期間(実証実験)

2010年5月 ~ 2010年9月末まで

## [本件に関する連絡先]

香川大学教育学部坂井研究室

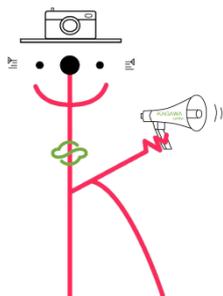
電話:087-832-1551

受付時間:9時~17時(土曜日・日曜日・祝日・年末年始を除く。)

富士通デザイン株式会社ユーザー・エクスペリエンスデザイン部

電話:044-433-5605

受付時間:9時~



# 学内案内図



研究交流棟

5F 研究者交流スペース

